

視 唱



視唱の試験について（2020年度までの例）

試験室には受験生が常に3人入室している状態です。

入室後の流れ

①入室したら、試験官に受験票を提示し、指定された座席に着席します。

②着席すると、自分の二人前の受験生の試験が始まります。

この時点では、まだ楽譜を見ることはできませんが、試験の様子を見ることはできます。

③二人前の受験生の試験が終了すると、室内で座席の移動があります。

「試験課題」の楽譜が置かれた場所に移動し、着席したら、楽譜を予見します。

④前の受験生の試験が終わると、いよいよピアノの近くの指定された場所に移動し、試験を受けます。

受験番号の確認後、試験曲の調のカデンツと開始音が与えられます。

開始音が聞こえたら、自分でテンポを決めて歌い出してください。こちらからテンポの指示をすることはありません。

試験は、立ったまま受けます。

⑤歌い終わったら、受験票を受け取って退室します。

※ 試験の切れ目などで、入室してすぐに（前の受験生の試験の様子を見ることなく）試験を受けることになる場合があります。

そのような受験生に対しては、不利にならないように、楽譜の予見時間を長くとるなどの配慮があります。